

国際化時代に 幸田町の未来を担う生徒らが 夢と希望を持ち 広い視野に立つて郷土の発展を考え 国際感覚と豊かな心を育ててほしい。

八月十九日幸田発・八泊九日アメリカ西海岸の旅

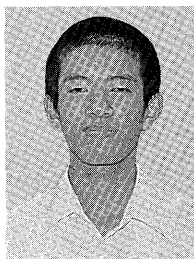
第一回幸田町中学生海外派遣団は、幸田中学校長の加藤忠さんを団長に、生徒六人、教員二人、教育委員会職員一人の計十人で構成されました。

八月十九日(土)、午前八時五十分幸田駅に集合した十人は、出発式で町長を始め、教育関係者、父兄らに見送られ、成田空港からロサンゼルスに向かいました。

その後、ディズニールランド、モンテズマキャッスル、モニュメントバレー、グランドキャニオン、フーバーダム、そしてサンフランシスコへ。一行は、訪問や見学を通して、アメリカ大陸の大自然と文化、アメリカ人気質に触れ、口では言い表せない驚きと感動を覚え、八月二十七日(日)に帰国の途につき、九日間の充実した日程を終え、家族やクラスメイトの待つ幸田に無事帰ってきました。

スケールの大きさ

北中3年 橋貴士さん



僕がアメリカで感じたことは、やはり日本とは違うスケールの大きさです。

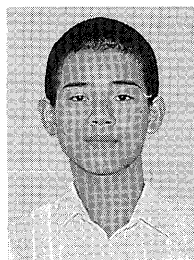
グランドキャニオン、モニュメントバレーや、ステーキの肉などは特に大きさを感じました。

また、アメリカ人は他人とうちとけやすく、気持ちも大きい人が多いような気がしました。

島国日本では、あの風土や人々の気質は生まれてこないと思えました。

アメリカ人の大きさ

幸中3年 近藤俊明さん

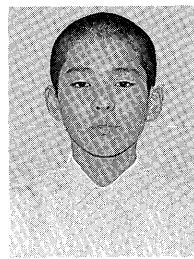


ぼくのアメリカの感想は大陸の大きさ、料理の大きさなどいろいろありますが、一番ぼくの心に焼きついたことは、アメリカ人のスケールの大きさです。背が高いことはもちろん、心までも、まるでアメリカ大陸のように広く、そしてやさしかったです。

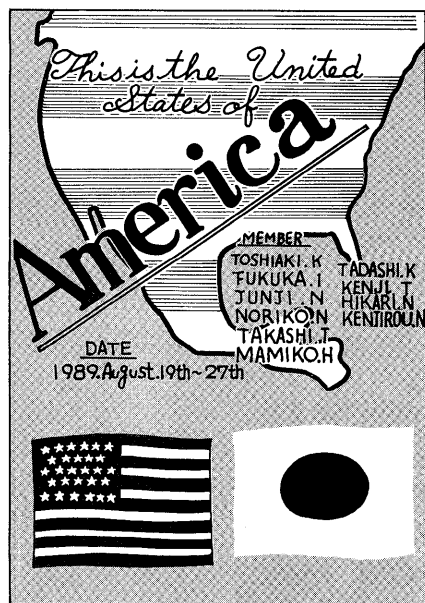
いつもぼくたちの目をしっかりと見、やさしいほほ笑みで接してくれたあの透き通ったブルーの瞳は、一生忘れないことでしょう。

風習の違い

南中3年 長谷純司さん



僕は、身近な事で、アメリカ人との習慣の違いに注目し、学んで来ました。アメリカの人は、本当に家庭を大事にします。僕と同じ年齢の子も照れずに親といっしょに買い物、食事について行き、楽しんでいました。日本には、このような事がなかなか行われていません。だから見習わなくてはならない点だと思えます。この派遣のおかげで、いろいろと良い事を学び取って来ることができました。



国際化時代に向けて — アメリカ西海岸の旅 —

団長・幸中校長
加藤 忠さん

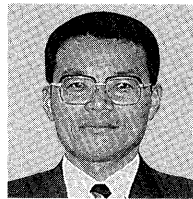
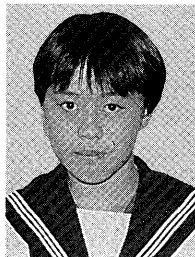


今回、小・中・高
の学習指導要領が改訂され
ましたが、この中で国際化
教育の推進が重視されてい
ます。町教育委員会では、
平成元年度の新規事業とし
て、中学生海外派遣の第一
回目を設定しました。まさ
に時宜を得た事業で、学校
教育に携わる者の一人とし
て敬意と感謝を申しあげま
す。第一回目は、生徒六人、
付添教師三人、教育委員会
職員一人、計十人の団が編
成され、去る八月十九日(火)
から二十七日(日)までの九日
間、アメリカ西海岸を中心
に視察研修を実施しました。
一行は、アメリカの土地の
広大さ、想像を絶する地形
の起伏、そこに住む人々の
明るさなどをまのあたりに
して、すばらしい感動を得
ました。百聞は一見にしか
ずです。この海外派遣事業
が、今後更に拡充するよう
期待します。

初めての体験で…

窓をのぞくと大陸が見え
てきました。日本とは比べ
られないほど大きいと、す
ぐに分かりました。アメリ
カに着いてからは、何もか
もが初めてで、どうしたら
いいかわかりませんでした。
でも帰る日が近付くにつれ
て、いろいろと自分ででき
るようになりました。私が
日本へ帰ってきて一番印象
に残ったことは、アメリカ
人の心の広さに比べ、日本
人は心が狭いということ
です。

北中3年
羽根潤真実子さん



北中教諭
塚水尾 顕治さん

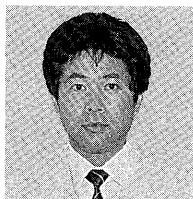
大自然と陽気な人々

二十年ぶりのアメリカでしたが、
陽気な人々と接し、ディズニール
ド、天を突く岩山モニュメントパレ
ー、大溪谷グランドキャニオン、都
会の高層ビル群など、そのスケール
の大きさと、これでもかこれでもか
と我々に迫ってくるアメリカはまた
格別でした。本当に良い機会を与え
ていただきました。

でかいぞ！USA

私にとってこの九日間は
感動の毎日でした。何が感
動かと聞かれると、人柄も
顔もスタイルも陽気さもフ
ァッションも街並も自然も
すべてがこっちのスケール
を上回っていて、大陸の大
きさを肌で感じました。何
もかもが「でかい」の一言
です。それから、いっしょ
に行った九人は、それぞれ
個性豊かで、毎日が楽しか
ったです。これから先、チ
ヤンスがあったら、何度で
もアメリカに行きたいです。

幸中3年
家子扶公香さん

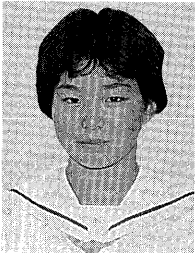


南中教諭
夏目 光さん

心優しいアメリカの人たち

あっという間に終わって
しまった九日間。アメリカ
の人たちは、とてもいい人
ばかりでした。少しづつか
つても必ず「Excuse me」と
いわれます。これがなぜか
わからないけどうれしい。
また、こちらが「Thank
you.」といえれば、「にこっとし
て、You're welcome」と
いってくれます。このあた
りまななことがとても気に
いりました。
この広いアメリカにまた
行きたいです。

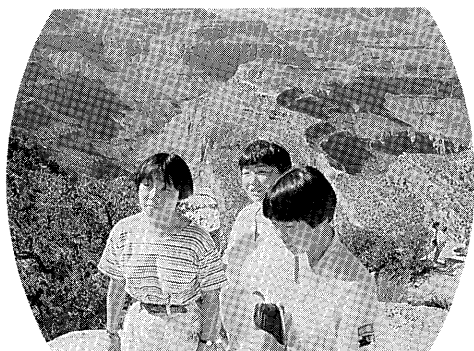
南中3年
夏目 紀子さん



陽気なアメリカの人

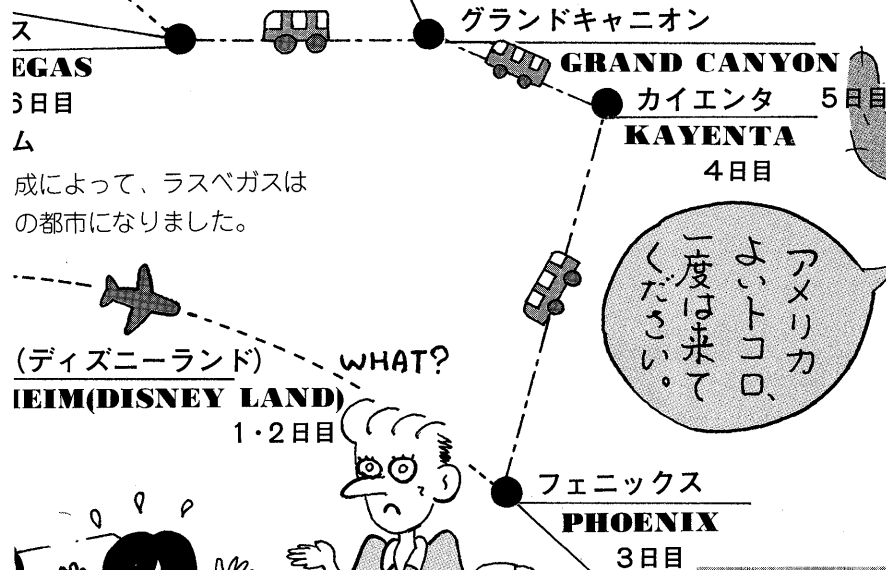
モニュメントパレーの神秘さ、グ
ランドキャニオンの広大さ、日本を
出る前まで頭に描いていたそれと、
あまりに違いすぎました。それにも
まして強く印象に残ったことは、街
で出会った人たちの陽気さです。人
種が違っても気軽に笑顔で接して
くれるアメリカの人たちに学ぶこと
は多かつたように思います。

言葉では言い表わせないくらい
“地球”を感じました。



モニュメントバレー **MONUMENT VALLEY**

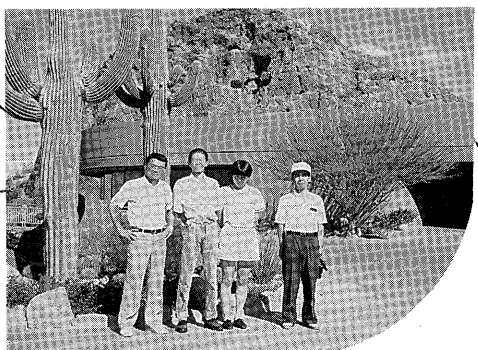
西部劇の舞台としても有名です。
今にも「幌馬車」が飛びだして来
そうでした。



アメリカ
よいトコロ、
一度は来て
ください。



単語プラス身ぶり手ぶり…いやぁ、
苦労しました。
全員が1日に5人のアメリカ人と
話をすることを目標にしました。

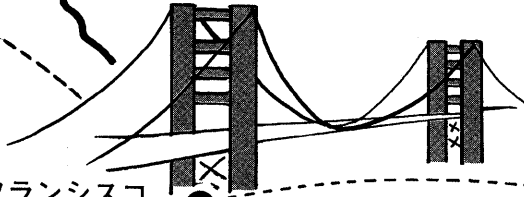


ここでは、スーパーマーケットに行き、
自分で買物をしてみました。

金門橋

GOLDEN GATE BRIDGE

霧のサンフランシスコの名のとおりに、とてもミステリアスでした。



サンフランシスコ

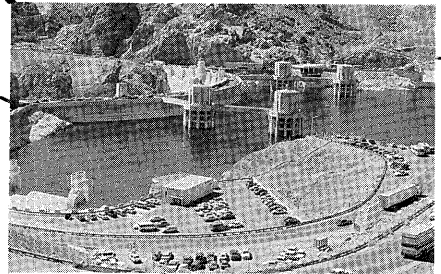
SAN FRANCISCO

7日目

8・9日目

太平洋

THE PACIFIC OCEAN



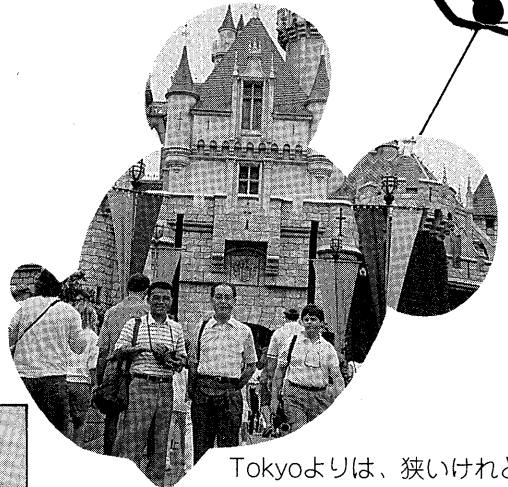
ラスベ
LAS

フーバー
このダム
ネバタ州

ロサンゼルス

LOS ANGELES

アナハ
AN



Tokyoよりは、狭いけれど、やはり本家本元、夢の国でした。

